

平成 23 年第 12 回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成 23 年 11 月 25 日（金） 午後 1 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201 会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者  
池浦教育部長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋学校教育課長、  
嘉代小中一貫教育推進室長、捧学校教育課統括指導主事、遠藤教育総務課課  
長補佐、田村小中一貫教育推進室副参事、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 3 人
- 6 議 題
  - (1) 前回会議録の承認  
平成 23 年第 11 回教育委員会定例会会議録について
  - (2) その他
    - ア 小中一貫教育関係の概要報告について
      - ① モデル中学校区中間発表会について
      - ② モデルカリキュラム作成進捗状況について
      - ③ 第一中学校区小中一体校開校準備推進方針について
      - ④ 各中学校区小中一貫教育推進協議会開催状況について
    - イ 冬季スクールバス運行計画等について
    - ウ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
  - (1) 前回会議録の承認について  
長沼委員長から平成 23 年第 11 回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
  - (2) その他
    - ア 小中一貫教育関係の概要報告について
      - ① モデル中学校区中間発表会について  
嘉代小中一貫教育推進室長が説明  
(長沼委員長)  
ありがとうございます。ただ今のご説明で、皆さんご意見やご感想はいかがでしょう  
か。  
(松永教育長)  
私は第一中学校の理科の、小学校 6 年生と中学校 1 年生の授業を見させてもらいまし

た。小学校の先生と中学校の先生が非常に協力し、子どもの興味を引きながら授業をしていた様子、事前の準備等、先生方の御苦勞をしみじみと感じさせてもらいました。

子どもたちも、緊張しておりましたが小学生と中学生が仲良く授業に取り組んでいたのではないかなと思って、人間の関わり方等についても子どもたちの中にも何か役に立つものがあつたのではないかと期待しているところです。先生方のご苦勞は本当にしみじみと感じさせられました。

他に、もし見てこられた方がいらっしゃいましたら、話していただければありがたいと思います。

(渡辺委員)

私も教育長と同じ中学校の理科を参観いたしました。子どもたちの様子が非常に印象に残っております。生き生きとして、なおかつ中学生が小学生に対して非常に温かな助言といひましようか、交流がなされていたのが非常に印象的でした。

授業は、いろいろな岩石が何でできているかというクイズ形式のようなことでやっていたわけですが、非常に興味のある授業でした。こういう単元、教材だと非常にうまく交流授業がなされるんだなど、非常に意義ある発表会だったと思います。

(須佐委員)

私はまず第一中学校に行きまして、授業を見させていただきました。その中で小学校の先生が、普段休みがちな生徒が喜んで来て中学生と一緒に授業をしている、実際にこの子だよということで見えてきたんですけども、本当に普段休みがちだとは思えないくらい中学生と楽しく授業をやっている姿を見て。他に落ち着きがない子も落ち着いて授業をしているということで、一番喜んでいたのは、その担任の先生だったという気がします。本当に、非常に素晴らしい授業だと思いました。

その後、四日町小学校の社会科の授業を見学したのですが、そこで最後の締めでしたが、きちっと授業の中で最後に中学校の先生が授業を締めくくっている、その落ち着き方というか、それがすごく素晴らしく印象に残りました。最後の締めの時は、子どもたちも本当に中学の先生の話真剣に聞いているんですね。そういった部分で、本当にいい授業だったと思います。

全体的に、先生方が本当に準備を周到にさせていただいたせいもあると思うのですが、慣れてきて落ち着いて授業ができていられたのかなと思いました。本当に素晴らしいという一言に尽きます。以上です。

(長沼委員長)

私は南小学校の数学を少しと、そして体育を見せていただいたのですが、本当に素晴らしかったですね。数学ももちろんですけども、体育を見ましたら面白くて、最後まで見てしまいました。

小学校の先生は、体育の専門の女の先生が教えてくださったので、自分が一番勉強になりましたとおっしゃっていました。

中学校の女の先生は、9回目とおっしゃっていました。そうすると1回ごとに、子どもの成長がわかり、前教えたことが身につについて伸びて、中学生よりもずっと進歩が早

くて、そういう点で自分はすごく楽しかったとおっしゃっていました。そして先生方はどちらも、このクラスがとてもいいですよ。このクラスがとても仲がいいから、こういうふうに通ぶんです。この人はちょっと危ないことをするからこの人をつけてとか、そういうふうになんとなく気配りしてくださって。

後転とか、前転、開脚後転とかを、できなくて泣いていた子どもできるようになるんですね。専門家の指導はやはり素晴らしいなと思いました。やって見せてあげると、子どもが前に習ったことをちゃんと、こうだから、ああだから、というふうに言って、それで自分で言われたことをしっかりと体験しながらできるとみんなが拍手をして。とてもいい授業でした。

また、先生方の御苦労は本当に大変だったと思うのですが、小学校の先生が言ってくださった、自分が一番勉強になって、この他の授業がとても楽しみになりましたとおっしゃってくださったのを、素晴らしいなと思いました。

帰ってきましたらちょうどテレビに、とても立派にインタビューが。よそのお母さんが、一生懸命にしてくれているということがわかった。インタビューで、そういうファンクラブができるかもしれません。とてもいいニュースだったと見て喜んでおられました。本当に皆さんありがとうございます。

(松永教育長)

坂爪委員は昨日少し体調を崩して、具合悪かったということで来られなかったのですが、皆さんからいいお褒めの言葉をいただいたり、あるいは良さを認めてくださって大変ありがたいことでもあります。

先ほど嘉代室長が話したように、これから成果と課題等をまた検証していくということですが、私も授業を見ながら、やはりいいところはいいとしても、まだまだ課題があるなという感じもしました。課題というのは、授業のやり方や進め方等についてもそうなのですが、分科会で他の参加した先生方は昨日、5、60人いらっしゃったわけですが、やはりいろいろなお意見がございました。そういう中でやはり今後も更にこれでよしというのではなくて、もう少し別な方法があるのか、あるいは子どもたち、5、6年生と中学1年生の授業の中であいう形が本当にいいのか、必然性があるのだろうかとか。そういうことを、もっとお互いに検証しながら、どのように小中の連携、交流というものをここで考えていけたらありがたいなと思っています。単にいいことばかりではなく、やはり課題もお互いに持って、昨日の中間発表会があったというふうに私は受け止めております。先生方からも更に研究してもらえればありがたいと思っています。

(坂爪委員)

昨日はちょっと出られなかったのですが、ある先生から、2年続けて発表会だったので課題があったので、真の先生方の発表する声も聞いて、かなり苦労されているのではないかなという気がします。かなり、毎年やっている発表会が2年続けて、また来年どうなるかちょっとわかりませんが、課題の中に先生方の真の声を聞いていただいて、負担がかからないようにしていただいた方がいいかなと。ちょっと聞いたものです。

から、その辺。

(高橋学校教育課長)

私は小学校6年生の、今委員長さんをご覧になりました算数の授業を、これは小学校の教員と中学校の教員が共同制作のような、しかもいわゆる中学校にもうすぐ入るといふ、そういう子どもたちの授業を拝見しました。

中学校の先生と、小学校の先生の両方に聞きました。中学校の先生は異口同音に、今日の授業は非常に丁寧な授業だと言っていました。小学校の先生に聞きました。みんなが、少々荒っぽいと言っていました。ということは、きっと中学校の先生から見れば丁寧な授業、小学校の先生から見れば荒っぽい授業。きっといいところにおさまった授業だったんだろうなと思いました。この授業が、どっちからもまあいいねと言われた時に、本当に小中一貫のいわゆる中期の授業として納得がいくようになるのだろうけれども、まだそこまでやっていないけれども、でも少なくともそういう授業ができたことはいいことだなと思いました。

見逃したくないことは、46組の小中のペアが授業をやっていることです。ということは、少なくとも46回は、延べにしてですが、今年46回は授業について話し合ったり授業をしたり、また2回やれば92回になるわけですがそのくらいに第一中学校区において頑張っていらっしゃる、今坂爪委員の方からもありましたが、それに伴って難儀さもあるのかなと私も思うところです。でも、ただひとつだけ、第一中学校区の先生方はその難儀さの中で非常に前向きにやっていらっしゃるなど。だからといって、それに甘えて更に負担をかけることはいけないことだと私も思うのですが、そういう、第一中学校区の先生方の努力は素晴らしい、心からの敬意を表したいなと思います。

もう1つ、すごいことがあります。私が拝見をした算数の授業ですが、こういう組み立てです。第一中学校区の生徒たちはまず考えること、それから自分の考えたことを表現することは不得意です。ですから、それを第一中学校区みんなで力をつけましょうということになりました。算数でいうと、算数では特に第一中学校区の子どもたちは関数の考え方がやや弱い。だから、関数の考え方をつけましょう。それについては小学校区では比例と反比例が関数の最後の出口になります。そこを、じゃあ、しっかりやりましょう。関数の中でも、どうも一番身につけたいのは速さの問題、速さと道のりと時間の問題、「速さ×時間＝道のり」という3つのどこか1つが穴が空いている問題が一番弱いと。というところまで、小中が共通の課題を持っている。ですので、昨日は小学校の反比例の問題で速さと道のりと時間の問題を取り上げてやりましょう。それだと小学校の教科書の100km歩くという話はあまりにも現実的ではないので、6kmを歩くことでやりましょうというくらいに、小中の先生方が何とか一中校区の子どもたちの算数の力をつけさせてあげたい。そういう形で授業をしました。私は、こういう姿はとてもすごいことだなと。結局100kmの道のりの問題を6km歩く問題に数字を変えたわけです。そうすると今度は、授業はそれで本当に適度な抵抗があるかどうかということ、それがちょっと色々な問題が発生したと。そういうふうに、何とか一中校区の子どもたちを良くしようという、そして先生方がみんな一中校区の合言葉は「一丸となって」ということでし

たが、そういうことと同時に、教育長がいつも言っている、小中一貫においては縦の連携、横の連携。これが一中校区の要項の中に、そして小林コーディネーターの最後の言葉の中にきちんと出てくるという形で、私は第一中学校区の先生方の取り組みは必ず実を結ぶ、そして子どもたちの幸せにつながるというふうに思いました。

そういう意味で、第一中学校も第三中学校も、教育委員の方からも限らないお力添えをいただいて伸ばしてやっていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

(長沼委員長)

ありがとうございます。

## ② モデルカリキュラム作成進捗状況について

捧学校教育課統括指導主事が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

## ③ 第一中学校区小中一体校開校準備推進方針について

嘉代小中一貫教育推進室長が説明

(長沼委員長)

ありがとうございます。ただ今のご説明に、ご質問、ご意見はいかがでしょうか。

(坂爪委員)

この図を見ると、開校準備委員会の組織が3部会あります。そこから線が上につながっていて、そこに4つの部会があります。この関連がよくわからないのですが。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

基本的な考え方はこの共同授業・共同活動部会、いわゆる小中一貫教育の推進のための学校の組織です。現在進めている小中一貫教育についてこの共同部会を主体にして進める必要があるということです。一方で評価・広報活動部会も同様の、現在の動いている内容について評価・広報をしながらという部会活動を行っていくものです。また、地域連携部会は御承知の通り、従来と同様に地域関係者のご意見を聞く場を設けるものですし、施設検討部会は設置の時にご了解いただきましたように、現在開校しているハード面、現在実施設計が終わってこれから建築に取りかかろうとする際に、色々な学校建築部分における協議を必要とした場合の検討組織、あるいは学校施設の周辺環境を巡るところについてもこの検討部会と協議を重ねてきた経緯がありますので、そういう意味ではこの施設検討部会がこの小中一体校開校に向けてまだ関わりがある部分と考えています。

一方、右側の小中一体校の開校準備委員会はというと、これはひとつには開校準備に向けた諸準備、これは左側の部分と重なる部分があるかもしれませんが、まずは開校一点に絞った準備組織かつ協議検討組織と考えているところです。また、全部が全部すべてこの委員会にかけるのかということについては、私どもは決してそうは考えておりません。要するに、保護者や教員、それから地域の方々と検討協議をしなければならない事項、そういう事項を整理した上で、極力その負担が少なくなるように、また逆に地域

の方、あるいは保護者の方から意見を伺わなければならない部分を十分整理しながらこの開校準備委員会を運営していく必要があるのではないかと考えているところです。それらを十分に説明させていただいた上で初回、あるいは第2回の開校準備委員会を通じてどのような範囲で協議を進めていくのか、検討を進めていくのかを、改めて委員会と十分な協議を踏まえて進めて行けたらと考えるところです。

(長沼委員長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

(坂爪委員)

今、推進室長が言われたように、横の連絡、だぶることがあるけれどもそこを調整しながらということですね。

(渡辺委員)

関連した質問なのですが、これから開校準備委員会が開催されて協議されるわけですが、それらで決定をみた事項については、上の推進協議会の承認も当然得ると、そういうことでいいですか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

小中一体校の開校準備委員会の基本的な運営は、2つの方向性があると考えております。1つは、当教育委員会が地元に対して、いわゆる関係の小中一体校関連する学校あるいは地域、学校に対してこういうものでどうだろうかという検討協議をお願いするもの。いま一点は、学校あるいは地域、この4つの学校が、この問題について例えば行政側はどう考えるのか、教育委員会はどうかということに協議しなければならないこと。そういう双方向の協議があろうかと考えております。

最終的には、協議組織があるのはあくまでも推進協議会でございます、それらの意見をお聞きしながら事務局で整理した上で教育委員会にお諮りをして、基本的には教育委員会としてこれを決定し、提案をしていくというのが、私どもが考えているところでございます。ご意見を聞き、検討協議をする場というのがあくまでも推進協議会と考えているところです。

(長沼委員長)

ありがとうございます。

(池浦教育部長)

ちょっと補足をしてよろしいでしょうか。今回、開校準備委員会の組織図を取り出しである関係で、誤解があるといけないので簡単に整理させていただきます。今までも教育委員会で意思決定をしているわけですが、同様にこの件についても、最終意思決定はこの教育委員会でやっていかなければならないものです。ただ、細かい過程については今ほど室長が申し上げた通り、ボトムアップしてくるものもあれば、逆に教育委員会としてのトップダウン的なものもそれぞれ課題の中で出てきますが、それを除けば従来の形と変わらないわけです。各中学校ごとにそれぞれ推進協議会を持ってまして、その下にそれぞれの必要な部会が設置をされて、そこで双方向の議論がなされていて、最終的にはそこであがってきたものを教育委員会の意思として決定していく。

今回はそれに加えて、第一中学校区の推進協議会の中に同列の部会として開校準備委員会を立ち上げますと、こういう中身です。これはあくまでも並列のものでありますし、それをなぜ推進協議会の中で立ち上げるかといえば、これは今までの推進してきた経緯があり、その経緯等が非常に重要になってくる関係から、推進協議会の中に並列として立ち上げるわけです。

(長沼委員長)

よろしいでしょうか。

(松永教育長)

最終的には教育委員会が意思決定をする機関であるということを確認しておきたいので。今日、これでよければ教育委員会として、そういう組織で開校準備をしましょうという意思決定をしてほしいというのが一点と。そうであれば、開校準備委員会の意向というものをきちんと整理しておく必要があるのかなと。これはあくまでも案として今出てきているわけですから、この案を整理すれば、設置要綱がきちんとできてくれば、今のような質問等についても、これは教育委員会としてこういう委員会を設置して審議機関を置きますというふうに考えていただくことなのかなと。

(池浦教育部長)

新たに推進協議会と並列で作るのであれば要綱が必要と思っていましたが、これはあくまでも推進協議会の中に設置をする、並列にすると部会の1つという位置づけの中ですから、あえていえば今作ってあります小中一貫教育の推進協議会の設置要綱、ここに新たに開校準備委員会を設置するという形で整備するのが一番きれいかなと思っています。改めて推進協議会と別に同列に開校準備委員会の設置要綱を作るのではなく、あくまでも施設検討部会のそれぞれの委員会が設置すると同じようにこの推進協議会の要綱の中に開校準備委員会を設置するということの整理の方がきれいかなと思っています。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

今の組織の構成的な仕組みというのは今ほど部長がお話ししました内容なのですが、既に11月15日の推進協議会におきまして、いわゆる設置要綱においては各協議会委員のその他事項におきまして、取り決めがなされた場合はそれぞれ、この施設検討部会の設置もそうですが、各推進協議会の了解の元に新たな部会を設置するという、同列の考え方で小中一体校開校準備委員会を置くということで既に推進協議会の一応了解は得ておるところです。

(松永教育長)

関連すると、これは今、第一中学校区の推進協議会ですよね。第二中学校区の推進協議会という中で一ノ木戸小学校の移転に伴う事務等の、また教育委員会事務局が関わることが多々あると思うのですが、それはこれからしなければならぬのですか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

ご承知の第二中学校区につきまして私ども承知しているところでございます。今後、第二中学校区につきましては協議が必要かと思えます。第一中学校区はご承知のとおり

り、第一中学校の移転、それから3つの小学校の統合というボリュームがあるものですので、まずこの第一中学校区の開校準備に向けた組織作りを進めさせていただいた次第です。第二中学校区につきましては、今現在それらにつきまして改めて推進協議会とご協議を重ねながら、改めて開校組織が必要かどうかも含めて協議をさせていただきたいと思っております。

(池浦教育部長)

室長が申しあげました通り、一ノ木戸小学校、裏館小学校につきましては、現在段取りについてやっているところですが、この推進協議会内部に置いたらいいのか、あるいは一ノ木戸小学校、裏館小学校それぞれ開校のタイミングが来年の2学期からと決まっております。その辺の並列的な考え方が必要かなということ、2ついっしょに同期をはかりながら進めていくという方針もあるのかなということ、こういったものがあるのか、それについて検討をさせていただいているところです。

(長沼委員長)

特別、意見というわけではないのですが、推進協議会にお邪魔した時に、必ずPTAの役員さんがお入りになるわけですけれども、もっと低学年の父兄が入りたかったというのを2、3か所で話しておられたのを聞いた覚えがあります。一番はどこでも会長さんといいますと最高学年になりますので、低学年のお母さんたちはもっと関わりたかったと。ですので、ここには保護者が増えるわけですけれども、特別支援の方や、何かそういうことがあればいいかなと、お聞きしたときに思いました。

では、これで終わりにしますが、承認ということよろしいでしょうか。

(長沼委員長)

承認と決定いたします。

#### ④ 各中学校区小中一貫教育推進協議会開催状況について

嘉代小中一貫教育推進室長が説明  
質疑に入るが質疑なく、質疑終結

#### イ 冬季スクールバス運行計画等について

嘉代小中一貫教育推進室長が説明  
質疑に入るが質疑なく、質疑終結

#### ウ 次回教育委員会定例会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成23年12月16日(金) 午後1時30分  
会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成23年11月25日 午後2時34分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してこ



ここに署名する。

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子